
2023年度 JWU 女子高等教育センター 活動報告

JWU 女子高等教育センターは、本学の建学の精神、教育理念を実現するため、学生の視点に立った継続的な教育改革を教職協働で進め、本学における教育の質の向上に寄与することを目的とし、教学マネジメントの一翼を担う機関として2019年6月1日に設置されました。センター所長と6名のセンター委員及び事務局である教学企画課を中心に学修支援課の協力を得て、教職協働で教育改革に関する検討事項など、教育改革を推進するための幅広い検討と提案を行っています。2023年度は学修者本位の大学教育の実現に向けた取り組みを推進するとともに、教育の質保証に関連する新たな取組について検討及び提案をしました。

構成員

センター所長 和賀 祥 (理学部)
センター委員 伊ヶ崎 大理 (担当理事・家政学部)
内村 理奈 (家政学部)
額田 春華 (家政学部)
加藤 玄 (文学部)
平田 由紀江 (人間社会学部)
黒岩 亮子 (人間社会学部)

センター委員ミーティング開催日

第1回 2023年4月17日(月)
第2回 2023年5月11日(木)
第3回 2023年6月8日(木)
第4回 2023年7月6日(木)
第5回 2023年10月12日(木)
第6回 2023年11月9日(木)
第7回 2024年1月18日(木)
第8回 2024年2月15日(木)
第9回 2024年3月12日(火) ※メール審議

JWU 女子高等教育センター主催によるセミナー

第 1 回 2023 年 6 月 29 日 ~ 8 月 19 日

名古屋大学教育基盤連携本部高等教育システム開発部門／高等教育研究センター

和嶋雄一郎 特任准教授による講演の視聴

テーマ「大学教育と AI との関係性 - 大学は ChatGPT とどう付き合う？」

主な検討課題

・アドミッション・ポリシーの見直し

2022 年度に取り組んだ 2024 年度から導入する大学ディプロマ・ポリシーと大学カリキュラム・ポリシー、及び学科ディプロマ・ポリシーと学科カリキュラム・ポリシーの策定に続き、入学試験協議会や各学科の協力のもと、大学アドミッション・ポリシー及び学科アドミッション・ポリシーを策定しました。

・アセスメント・プランの見直し

2024 年度から導入する大学の 3 ポリシー及び学科の 3 ポリシーの策定に続き、アセスメント・プランの見直しに着手しました。見直しに先立ち、学修成果の可視化に向けた具体的な取り組み方法についての検討を開始しました。

・授業アンケートを用いた授業改善の取組

大学執行部会議からの付託を受け、授業アンケートを用いた授業改善の取組について検討しました。授業アンケートの自由記述コメントを確認し、教育の質保証の観点から対応策を講じる必要がある事例については、2024 年度より全授業担当者に共有することにしました。また、複数人数から同内容の改善を求めるコメントがあった授業担当者や、2 期以上にわたり改善を求めるコメントがあった授業担当者には、個別に学部長又はセンター長及び JWU 女子高等教育センター所長からコメント内容の確認や対応を依頼することにしました。

・ポートフォリオの本格導入

学生の学修成果を可視化することを目的に 2022 年度新入生より暫定導入したポートフォリオ「マイステップ@JWU」を、2023 年度新入生から本格導入しました。積極的に利用している学生の意見を参考に「個人的に達成したい目標」を新項目として設定し、目標達成に向けた進捗状況を選択式で記録できる仕様にしました。

・PROG テストの受験率向上に向けた取組

1 年次と 3 年次の学生に実施している外部アセスメントテスト「PROG テスト」の受験率を向上させるために、PROG テストを就職活動に活用した学生の事例を取り上げたリーフレットを作成し、2024 年度より PROG テストの受験案内とあわせて配布することにしました。また、コロナ禍においては Zoom を用いて遠隔で開催していた PROG テスト受験後の解説会を、3 年次については対面にて開催しました。次年度は 1 年次についても対面での開催を予定しています。

・ IR の推進

IR の推進の一環として作成しているファクトブックを 2023 年度版に更新し、学内に公表しました。また、授業アンケートにおいては分析項目を追加し、学修時間・学修行動調査においては新たに学科別集計報告書の作成に取り組みました。

・ 新任教員研修の実施

新任教員全員を対象に、学修者本位の教育への転換や本学の教育改革への取り組みを理解してもらうための研修を実施しました。

・ 初年次教育の実施

学務部や学生生活部と調整し、2023 年度新入生向けの全学的な初年次教育を 2023 年度新入生オリエンテーション期間に実施しました。2023 年度新入生は全員、三綱領、大学での学び、授業アンケート、ポートフォリオ「マイステップ@JWU」等をテーマに当センターが作成した初年次教育に係る動画を視聴しました。

所長メッセージ

これまでに全学的にディプロマ・ポリシー（DP）をはじめとした、いわゆる 3 ポリシーが見直され、来年度から運用開始です。これまでは主に教職員に対して学修者本位の教育における 3 ポリシーの位置付けの周知に努めてきましたが、これからは学修の主体者である学生が大学 DP、基盤の科目群 DP および学科 DP の関係を理解し、そこで提示された学修目標の達成を目指すように学生に働きかけていくことが必要であると考えています。

ここで学生も教職員も強く意識すべきことは、個々の科目の到達目標が実質的に DP につながっているという点です。科目の到達目標の達成度は、試験、レポート、発表などで測定され総合的に評価されています。さらに、授業アンケートでも学生自身が達成度を評価しています。もしもその達成度が低かった場合、授業担当者は授業方法が適切だったかを振り返り、必要な場合は授業内容を見直して改善につなげます。同じような改善サイクルは学科 DP にも当てはまり、科目の達成度および学科 DP の達成度をもとにカリキュラムの内容、授業方法および達成度測定方法が適切であるかを定期的に検討することが必要です。

各学科におけるこのような改善サイクルには、学科 DP の達成度を適切に測定・評価し、その結果を学生と教職員の双方が把握できることが重要であることは言うまでもありません。しかし、学科 DP 達成度の可視化のしくみは、本学で十分に整備できているとは言えず、今後の当センターの大きな検討課題の一つと考えています。

大学や学科という視点で教育を考える時、学生を集団として捉えがちです。しかし、教育は学生一人ひとりに対するものであり、DP 到達度も当然個人によって異なります。到達できた内容もレベルも個人によって異なりますが、成長した（力が身についた）ことを卒業する時に学生と教員が客観的なエビデンスに基づいて共有できるようになることが理想ではないかと考えています。